

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策研修会

～時系列に沿った対応の流れと
具体的な蔓延防止対策を理解する～

令和3年3月20日（土）

14時～15時30分

二州健康福祉センター

二州保健所長と疫学調査/感染対策チーム

湊さん一家（敦賀市在住）

太郎(52歳)
嶺南小学校の先生



花子(52歳)
調理従事員



さくら(22歳)
東京からUターン



小太郎(17歳)
嶺南高校2年生



花子さん

職業：調理従事員

所属先：にこにこフーズのパート社員

勤務先：つるが高齢者施設



(月)～(木)・・・つるが高齢者施設

(金)・・・にこにこフーズ敦賀営業所



事例を通して新型コロナウイルス 感染症が発生した時の流れを みてみましょう

今回は、

- ①花子さんが濃厚接触者になった場合
- ②花子さんが陽性になった場合

にどのような流れになるのか
皆さんがどのようなことを普段から
しておかなければいけないか
を考えてみましょう。

①花子さんが濃厚接触者になった場合

3月12日

さくらがコロナ検査の結果
陽性となった・・・

さくら(22歳)
東京からUターン



さくら 発症



- さくらは、東京の大学に通っていましたが、地元での就職が決まったので、3月7日から実家に帰ってきました。
- 3月12日の起床時、さくらは身体がだるいなと思ったため、熱を測ってみると38度の熱がありました。
- そういえば、少し喉も痛いと思い、かかりつけの気比クリニックに電話で相談することにしました。

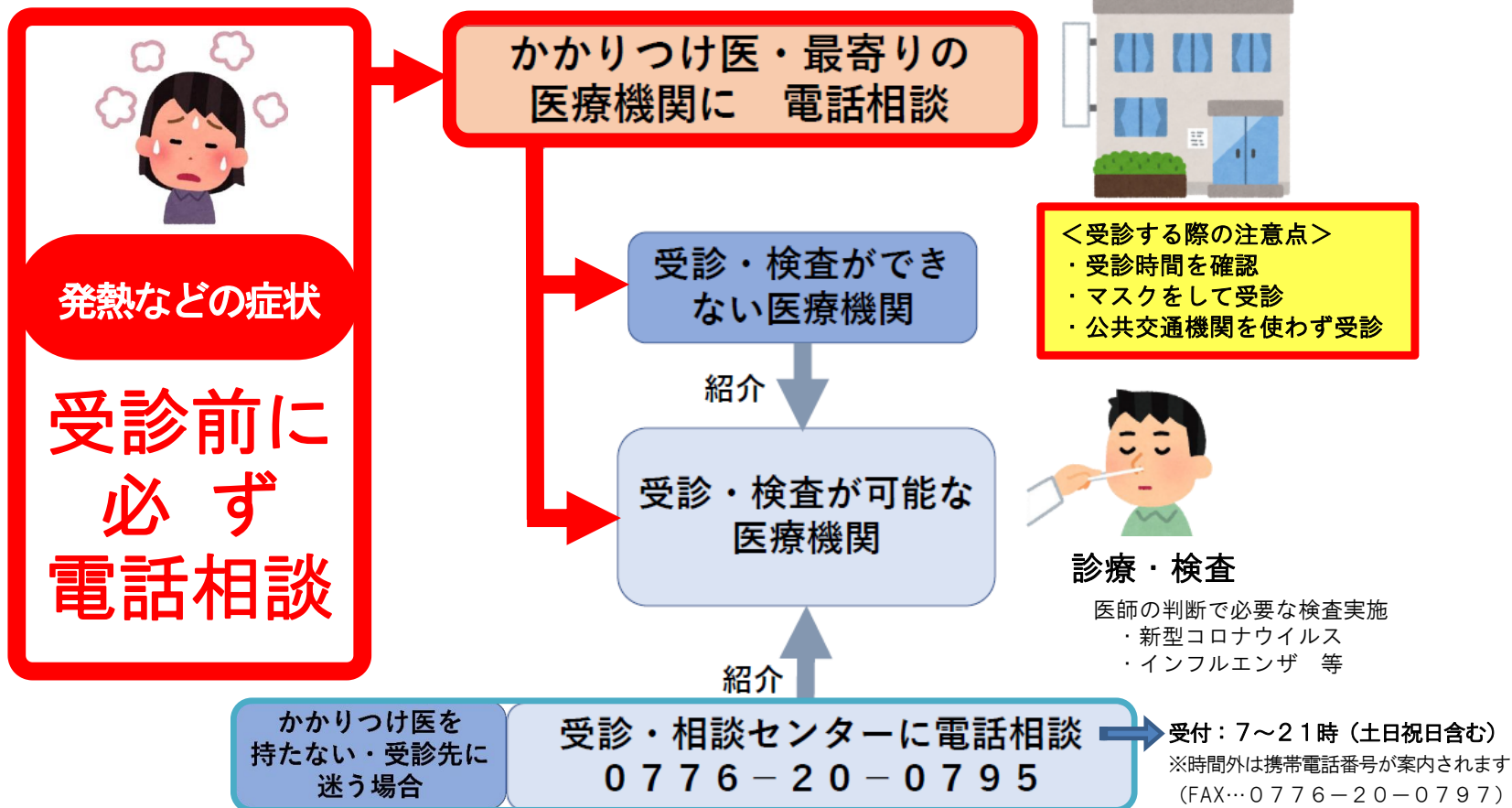
**※かかりつけ医がない場合、受診に悩む場合は
受診・相談センター（県庁内）0776-20-0795**

インフルエンザの流行に向けて

発熱などの症状が出た場合の医療機関のかかり方

これまで、新型コロナウイルス感染症の相談及び受診調整については、「帰国者・接触者相談総合センター」（旧名称）となっていました
が、インフルエンザの流行時期を迎え、一般の医療機関において必要な感染対策を講じた上で外来診療・検査を行うこととなります。

医療機関受診の流れ



※感染症指定医療機関や地域の基幹病院等は、主に入院治療に対応するため、直接受診することは控えてください。

新型コロナウイルス感染症情報はこちら→

新型コロナウイルス感染症

検索

かかりつけの気比クリニックに電話相談

受付 「どんな症状が、いつから出ていますか？」

さくら 「今朝、起きた時から38度の熱があり、喉も少し痛いです。」

受付 「熱が出た日から2週間以内に県外や大勢の人が集まる場所へは行っていませんか？」

さくら 「3月7日に東京から敦賀に帰ってきました。東京で、実は飲み会とカラオケをしました。友人と会えるのが最後だったんです...」



かかりつけの気比クリニックに電話相談

受付 「ご家族の方で同じ症状が出ている方は
いらっしゃいませんか？」

さくら 「自分だけで、みんな大丈夫だと思います。」



受付 「発熱があり、県外にも行っているので、
10時に気比クリニックに来てください。
着いたら車の中から電話をしてください。
発熱者はドライブスルー方式で診察をするので、
車からは降りないでください。」

気比クリニックに受診

その日（12日）の10時に気比クリニックに到着し
さくらは指示通り車からクリニックに電話をしました。
受付 「発熱があるため、ドライブスルー方式で診察
します。」

さくらは、クリニックの裏の駐車場にある診察場所
まで誘導されました。



気比クリニックでの検査

防護服をきた先生がさくらの車に近づいてきました。さくらは車に乗ったまま、先生の診察を受けました。診察の結果、新型コロナウイルス感染を疑うので、抗原検査をすることになりました。

前を向いているように言われ、鼻の奥に綿棒を入れて検体を採取しました。10分もかかりませんでした。



結果

抗原検査の検体採取が終わると、車の中でそのまま待っているように指示がありました。

30分後、気比クリニックからさくらの携帯に電話がありました。

「さきほどの抗原検査の結果が出ました。

実は、**陽性**でした。この後、PCR検査を実施する分の検体を再度取らせてもらいます。」

「症状があまりひどくないようなので、一度自宅に帰ってください。保健所から連絡があると思うので、その指示に従ってください。」



保健所からの連絡

さくらは一旦、自宅に帰りました。

30分ほどすると、保健所から連絡がありました。

「気比クリニックから聞いているかと思いますが、さくらさんは抗原検査の結果が陽性でした。

この後、PCR検査を実施し、PCR検査でも陽性になれば、新型コロナに感染していると確定します。

明日の朝に検査結果が出るので、それまでは外出せずに、同居の家族とも離れて過ごすようにしてください。同居の家族も外出を控えて頂き、仕事や学校も休むようにしてください。」

保健所からの連絡

3月13日9時頃に、保健所から連絡がありました。

「昨日のPCR検査の結果、やはり、陽性でした。

これから病院に入院となりますが、入院先については決まり次第、県の担当部署か保健所から連絡が入ります。」

「また、さくらさんの行動歴などを詳しくお聞きしたいので、10分後くらいに、再度、電話をかけさせていただきます。その間に、家族に結果を伝えてください。家族から職場や学校に連絡して、休んでもらってください。」

保健所の指示に基づく患者家族の動き

さくらは、家族に結果を伝えました。

- ・ さくらが新型コロナウイルスに感染していること
- ・ 家族は、仕事や学校を休むこと

太郎さんと花子さんは、勤め先の会社に現状を伝え、仕事を休みました。

花子さんは嶺南高校に電話をして、小太郎が欠席することを伝えました。

積極的疫学調査の内容

10分ほどすると、保健所から再度さくらの携帯に電話がかかってきて、以下の情報について聞かれました。

(1) 基本情報について

- ・ 氏名、住所、生年月日、連絡先、職業
- ・ 基礎疾患 ・ 家族構成

(2) 病状について

- ・ いつからどんな症状があるか
- ・ 症状が悪化していないか

(3) 行動調査

- ・ 発症から2週間さかのぼってどこで誰と何をしたか
- ・ その際のマスク着用の有無、換気の状況

積極的疫学調査（さくらから聞き取り）

発症日より	日付	場所	接触者	マスク着用
14日前	2/26	在宅（東京）	無	無
13日前	2/27	東京の友人の家に歩いて遊びに行った。 夕食に鍋を食べた。	友人	無
12日前	2/28	在宅（東京）	無	無
11日前	3/1	在宅（東京）	無	無
10日前	3/2	引っ越しの荷造りを友人に手伝ってもらう バーガークイーンで夕食	友人 バーガー クイーン	無
9日前	3/3	在宅（東京）	無	無
8日前	3/4	大学の友人とランチ	友人	食事中 無

積極的疫学調査（さくらから聞き取り）

発症日より	日付	場所	接触者	マスク着用
7日前	3/5	東京の百貨店で買い物 （一人、移動は地下鉄を利用）	百貨店	有
6日前	3/6	東京で、大学の友人4人と居酒屋を2軒はしごした。その後カラオケ店に滞在した。	東京の友人4人	移動中のみ有
5日前	3/7	東京から敦賀に一人で電車で帰ってきた。 （13時発の北陸新幹線で東京→金沢、しらさぎで金沢→敦賀） 帰宅後は在宅（敦賀）	新幹線 しらさぎ 家族	有有 無
4日前	3/8	近所に住む祖父母の家に1人で車で行った。 昼食は祖父母の家で食べた	祖父母	食事中無 移動中有
3日前	3/9	在宅（敦賀）	家族	無

積極的疫学調査（さくらから聞き取り）

発症日より	日付	場所	接触者	マスク着用
2日前	3/10	AM 1人で近所のドラッグストアで10分ほど買い物（移動は車） 夜 友人A・Bと夏吉で2時間ほど食事	無 友人A・B	有 無
1日前	3/11	友人A・Cと10番ラーメンで食事してドライブをした（車に2時間ほど同乗） 夜は、自宅で家族で就職祝い焼肉パーティをした。	友人A・C 家族	無 無
発症日	3/12	在宅（敦賀） ※起床時から発熱、クリニックに電話し、受診→抗原検査の結果陽性	家族 クリニック	無 有
1日後	3/13	在宅（敦賀） ※PCR検査の結果陽性	家族	無

濃厚接触者の洗い出し

濃厚接触者の定義

「患者（確定例）」の感染可能期間（発症2日前～）に接触した者のうち、次の範囲に該当する者

- ・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機等を含む）があった者
- ・適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
- ・患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他：手で触れることのできる距離（目安として1m以内）で、必要な感染予防策なしで患者（確定例）と15分以上の接触があった者

濃厚接触者の確定

保健所で検討した結果、以下の人を濃厚接触者としました

(1) 家族 (太郎、花子、小太郎)

※食事をするなどマスク無で密接に過ごしていたため

(2) 友人 A・B・C

※A・Bは、マスク無しで2時間飲食 (発症2日前)

※A・Cは、マスク無しで食事、車に2時間同乗 (発症1日前)



濃厚接触者はPCR検査を受けること
になりました。

消毒

保健所から花子さんに、家の消毒をするよう伝えました。

【消毒液】

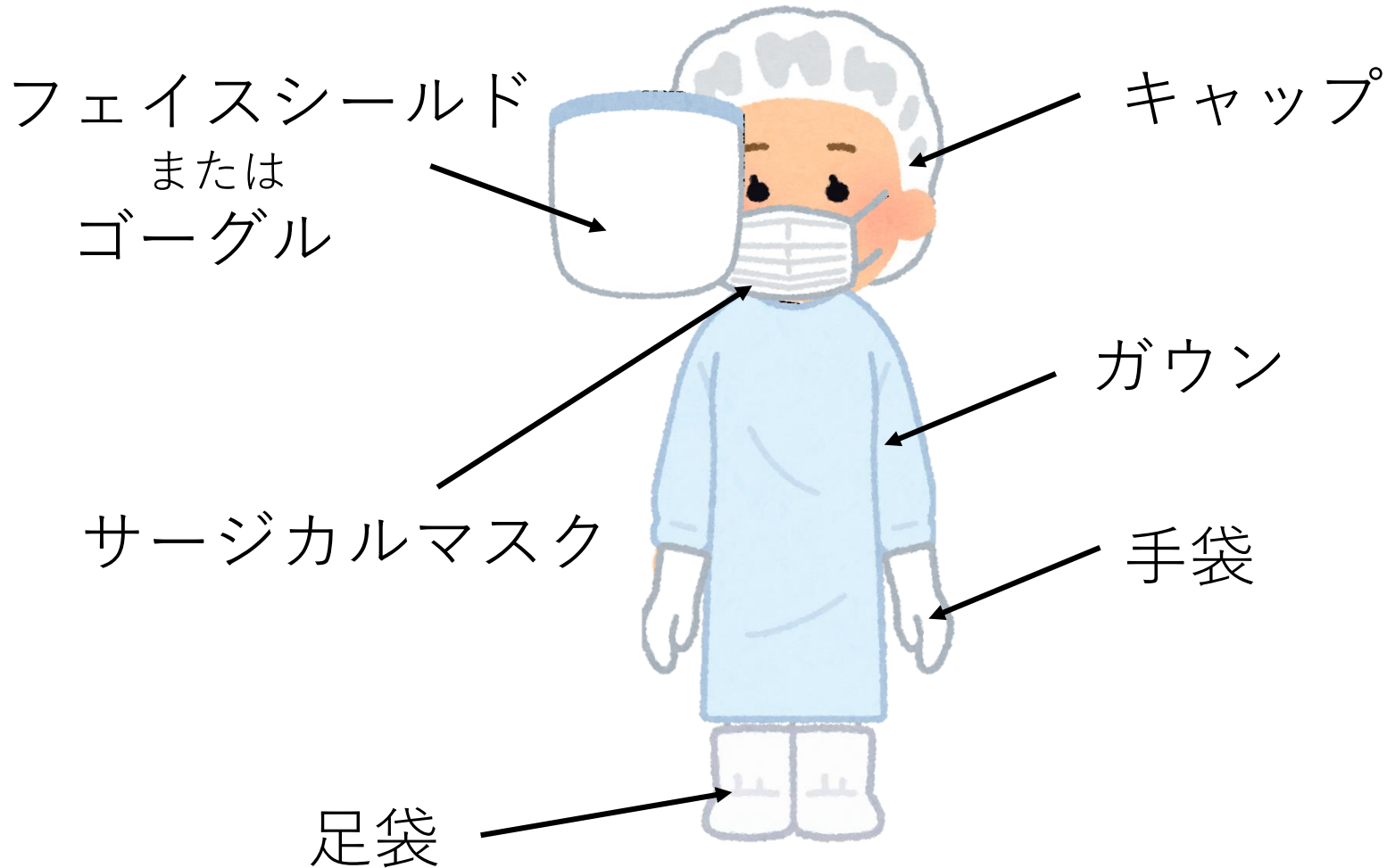
- ・ 0.05%に薄めた次亜塩素酸ナトリウム
- ・ 70%以上のエタノール

【消毒場所】

さくらが触った可能性がある場所
(ドアノブ、テレビのリモコン、手すり、椅子の背もたれ、トイレ、車のハンドル等)

消毒

消毒の際には、防護具(中等度PPE)の着用が必要



個人防護具（中等度PPE）の着脱



公表の同意と内容の確認

- ・保健所からさくらの携帯に電話があり、報道での公表内容を読みあげ、公表してよいかを確認され、同意しました。

【公表内容】

- ・年代
- ・性別
- ・居住市町
- ・発症日時
- ・症状と容態
- ・基礎疾患の有無（病名含む）
- ・行動歴（国外・県外の滞在歴、不特定多数の者と接する場所の利用の有無、公共交通機関利用の有無）
- ・業種
- ・勤務先に関する情報（所在地、事業所名）
- ・今後の容態の変化
- ・濃厚接触者の情報
- ・他の感染者との関係性

入院

- 県の担当からさくらの携帯に「入院先が春野病院に決まった」と電話がありました。
- しばらくすると春野病院からさくらの携帯に電話があり、午後4時に入院の準備をして病院の駐車場に来るように言われました。
- さくらは自分で運転できそうだったので、自分の車で病院へ向かい入院しました。



濃厚接触者のPCR検査

3月13日、濃厚接触者（家族、友人A・B・C）はPCR検査を受けました。

3月14日、検査結果は全員陰性と分かりました。

【保健所】

結果は陰性でしたが、濃厚接触者は、陽性者との最終接触から2週間の自宅待機と健康観察を保健所からお願いしました。

濃厚接触者の健康観察期間

陽性患者との最終接触日から14日間

(1) 友人(A・)B

最終接触 3/10 → 健康観察期間 3/24まで

(2) 友人A・C

最終接触 3/11 → 健康観察期間 3/25まで

(3) 家族 (太郎、花子、小太郎)

最終接触 3/13 → 健康観察期間 3/27まで

ここで、振り返りをして
みましよう



花子さんが勤務している 職場として考えられる対応

- (1) 普段から、職員が濃厚接触者、陽性者になった場合の情報共有、連絡体制を整えておく
- (2) さくらの感染可能期間（発症の2日前）に職員がさくらと接触していないか確認する

花子さんが勤務している 職場として考えられる対応

- (3) 花子さんからさくらに感染した可能性も否定できないため、職員と高齢者施設の入所者の健康状態の確認（有症者の有無）
- (4) 花子さんが欠勤になった際のシフト等の調整を職場内で検討しておく

②花子さんが陽性になった場合

職場内に陽性者が出た！



花子さん

職業：調理従事員

所属先：にこにこフーズのパート社員

勤務先：つるが高齢者施設



(月)～(木)・・・つるが高齢者施設

(金)・・・にこにこフーズ敦賀営業所



濃厚接触者のPCR結果

濃厚接触者のPCR結果は以下のとおりでした。

(1) 家族

花子 (+)

太郎 (-) 小太郎 (-)

(2) 友人

A (-) B (-) C (-)



結果

翌朝（14日）9時頃に、保健所から花子の携帯に電話があり「PCR検査の結果、実は花子さんだけが陽性でした。太郎さんと小太郎さんは陰性でした。」と連絡を受けました。

「花子さんは入院となりますが、入院先については決まり次第、県の担当部署か保健所から連絡が入ります。」

「まず、花子さんから所属先のにこここフーズに結果を連絡し、窓口となる人から保健所に電話をするようにお願いしてください。」

「行動歴などを詳しくお聞きしたいので、先に職場に電話をしてください。10分くらい後に、再度、電話をかけます。」

保健所の指示に基づく患者家族の動き

- 花子さんは所属先の「にこにこフーズ」に電話しました。にこにこフーズの窓口となる人から保健所に電話をしてほしいと伝えました。
- 太郎さんは嶺南高校に電話をして、状況を伝え、小太郎が欠席することを伝えました。
- 太郎さんは、自分で職場に電話をして、状況を伝え、欠勤することを伝えました。

濃厚接触者について

- 濃厚接触者が陽性になった場合は、その人に積極的疫学調査を実施し、さらに濃厚接触者を同定します。
- 花子さんも春野病院に入院することが決まりました。

積極的疫学調査

- 保健所は、花子さんが陽性になったため、花子さんに積極的疫学調査を行いました。
- 花子さんの所属先（にこここフーズ）の窓口となる方から保健所に連絡がきました。職場に対して、調査を行いました。

積極的疫学調査

- 所属先に対する調査の結果、感染可能期間は「つるが高齡者施設」に勤務していたことが分かりました。
- 勤務先（つるが高齡者施設）の窓口の方から保健所に連絡をして頂くようお願いをしました。

積極的疫学調査

- 花子さんの症状を確認したところ、実は12日から喉の違和感と鼻水が少しあったことが分かりました。

感染可能期間(2日前の10日)から重点的に調査を行いました。

積極的疫学調査（花子さんから聞き取り）

発症日より	日付	場所	接触者	マスク	換気
2日前	3/10	つるが高齢者施設に勤務 日勤（8：30～17：15）	施設職員・厨房職員・入所者等	有	不明
1日前	3/11	つるが高齢者施設に勤務 日勤（8：30～17：15）	介護職員・厨房職員・管理栄養士・入所者等	有	不明
発症日	3/12	朝、さくらが発熱したため、勤務先のマニュアルどおり仕事を休んだ	家族	有	無

積極的疫学調査（花子さんから聞き取り）

発症日より	日付	場所	接触者	マスク	換気
1日後	3/13	さくらがPCR検査の結果、陽性と判明。 花子は濃厚接触者となった。 PCR検査を受けた。 在宅	家族	さくらとは別室で過ごす	有
2日後	3/14	在宅 ※PCR検査結果 陽性判明	家族	〃	有

調査の対象は、つるが高齢者施設のみ！

積極的疫学調査

- ・ つるが高齢者施設は、花子さんの感染可能期間の出勤状況や施設内での花子さんの動線を保健所へ伝えました。

保健所が確認すること

- 感染可能期間に出勤していた職員、
入所者の名簿
(氏名、年齢、性別、基礎疾患、症状の有無等)
- 花子の動線、マスク着用の有無
消毒・換気の状態
- 検温、健康観察の状態等の感染対策について

積極的疫学調査（つるが高齢者施設から聞き取り）

発症日より	日付	場所	接触者	その他
2日前	3/10	<p>出勤 休憩室で着替え</p> <p>8:30 厨房職員の朝礼・申し送り・入所者数の確認・食札の確認</p> <p>9:00 食材の受け取り、検品</p> <p>10:00 昼食とおやつの準備</p> <p>11:30 厨房の片付け</p> <p>12:30 休憩</p> <p>13:30 管理栄養士と打ち合わせ</p> <p>15:00 厨房の片付けと翌日の準備</p> <p>17:15 終業</p>	<p>厨房職員・食材の業者・管理栄養士</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼は厨房入口付近で行う。厨房は、虫の侵入を防ぐため窓は閉めている。 ・食材の受け取り時は、5分程度。
1日前	3/11	<p>出勤 休憩室で着替え</p> <p>8:30 厨房職員の朝礼・申し送り・入所者数の確認・食札の確認</p> <p>9:00 食材の受け取り、検品</p> <p>10:00 昼食とおやつの準備</p> <p>11:30 昼食を食堂に運ぶ</p> <p>13:00 休憩・新作おやつ試食会</p> <p>14:00 厨房で、おやつの準備</p> <p>15:00 おやつの配膳手伝い</p> <p>17:15 終業</p>	<p>厨房職員・調理従事員・入所者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者食事中マスク無し。職員はマスク着用。食堂は、窓は開いていなかったが、入り口が大きく開いており、人の感覚は2メートル離れている。

積極的疫学調査（つるが高齢者施設から聞き取り）

発症日より	日付	場所	接触者	その他
発症日	3/12	さくらが発熱したため花子は仕事を休んだ	なし	
1日後	3/13	欠勤 さくらが陽性と判明 花子は濃厚接触者としてPCR検査	なし	
2日後	3/14	欠勤 検査の結果、花子は陽性と判明	なし	

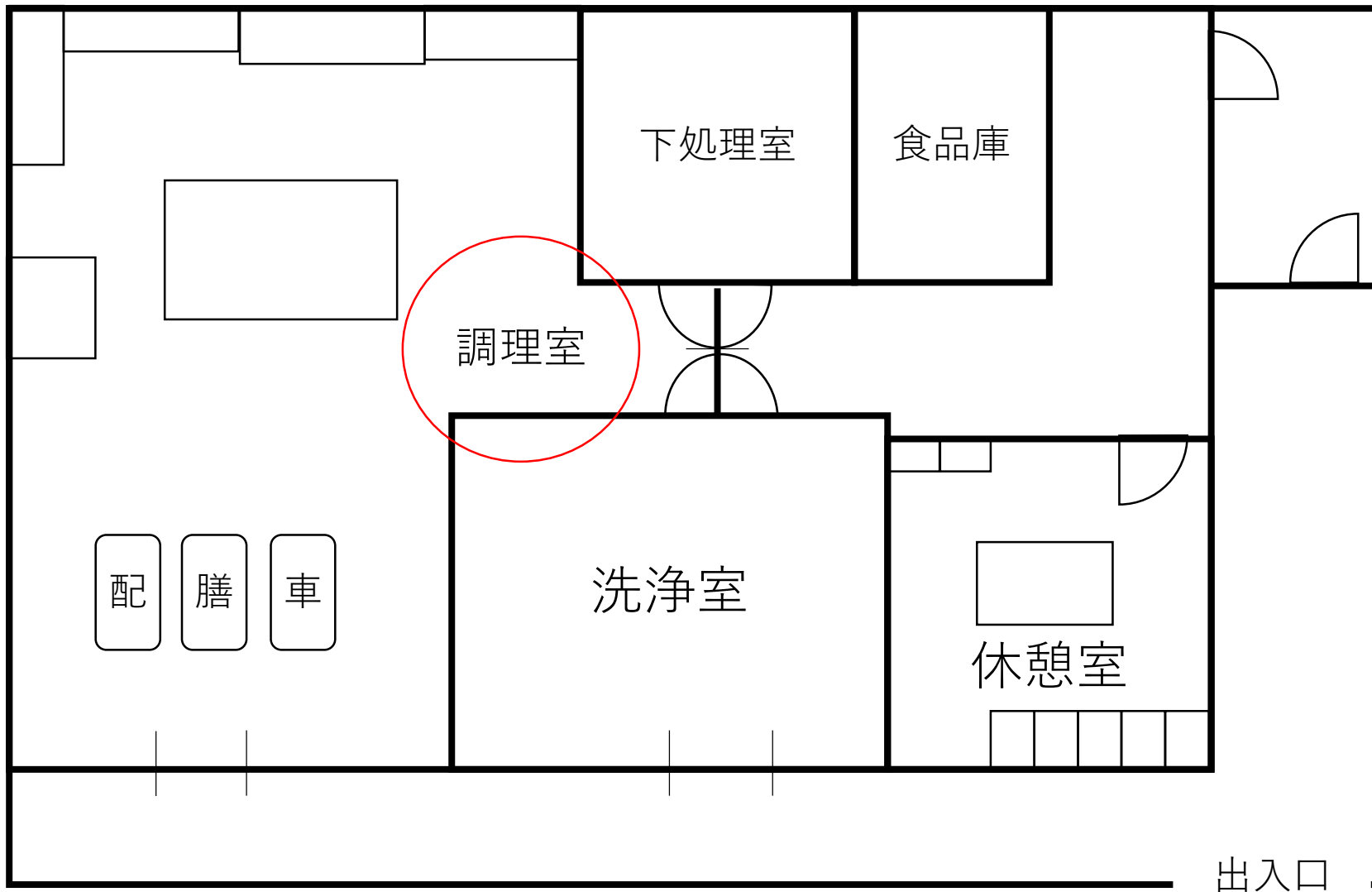
※厨房は、虫の侵入を防ぐために窓はあいていない。

※食堂は、まだ寒い季節なので窓はあけずに暖房をつけている。

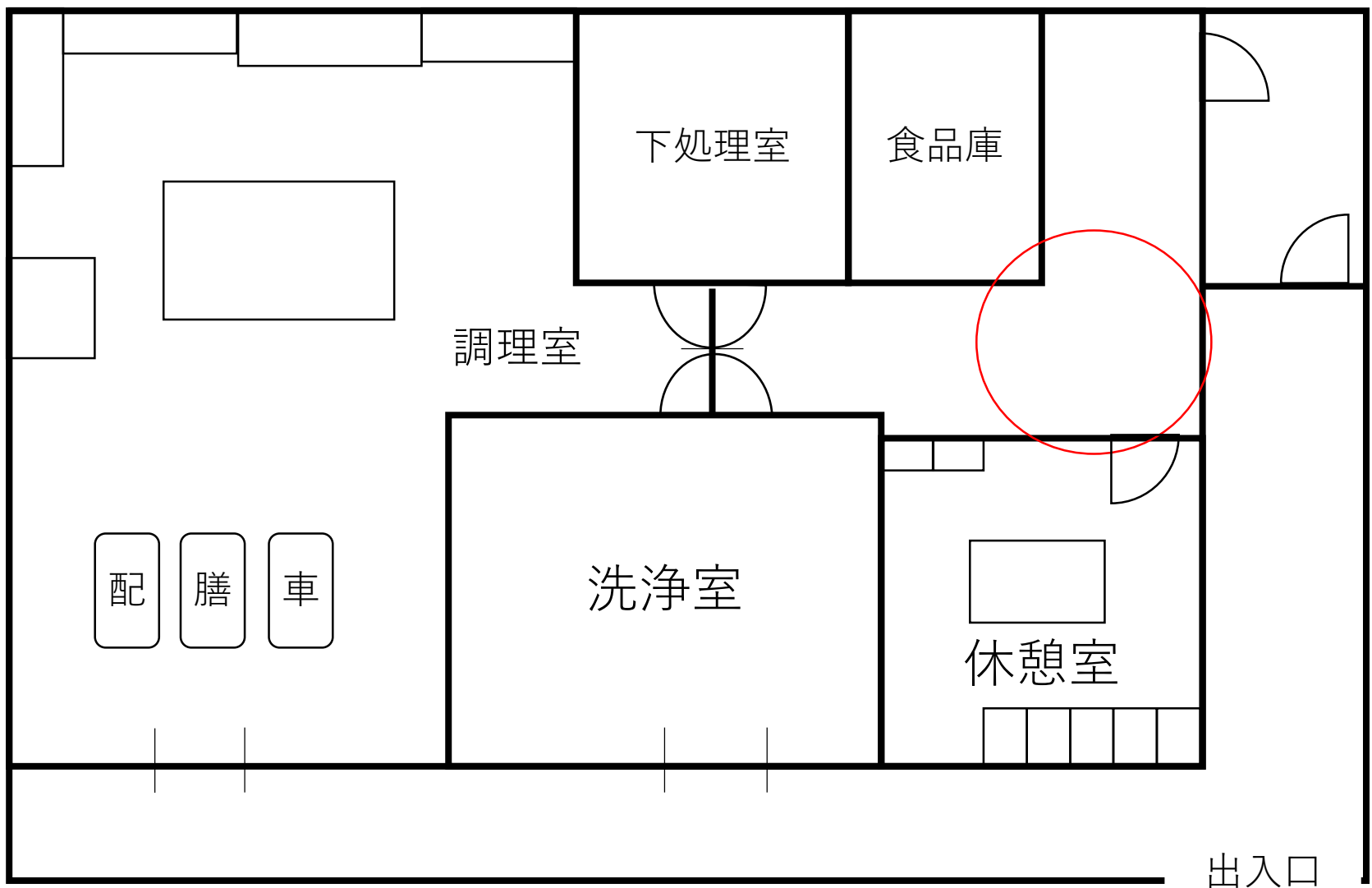
※入所者は、食事の前に必ず手洗いをしている。

※職員は、出勤前に必ず検温をしている。

厨房

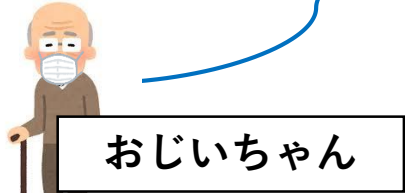
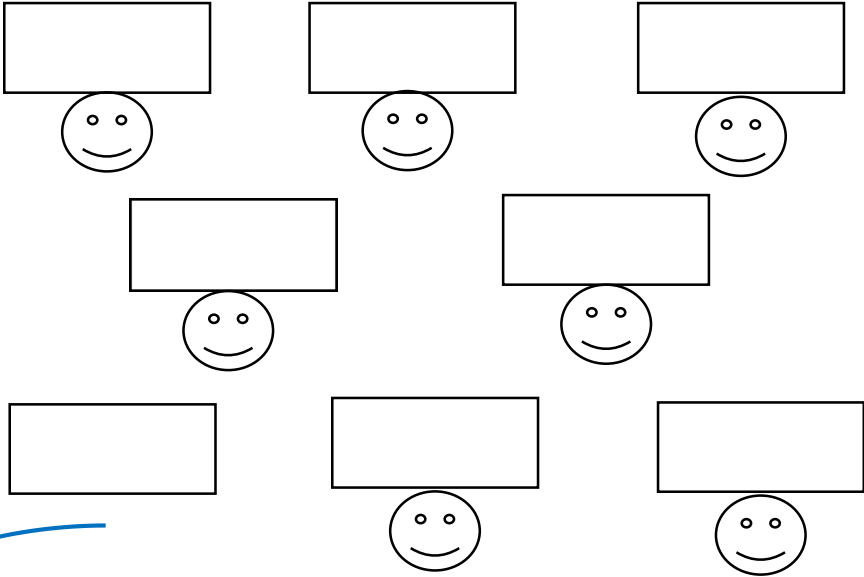


厨房



食堂

テレビ



おじいちゃん



配膳車



花子

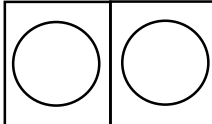
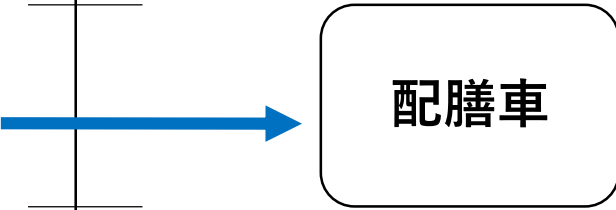
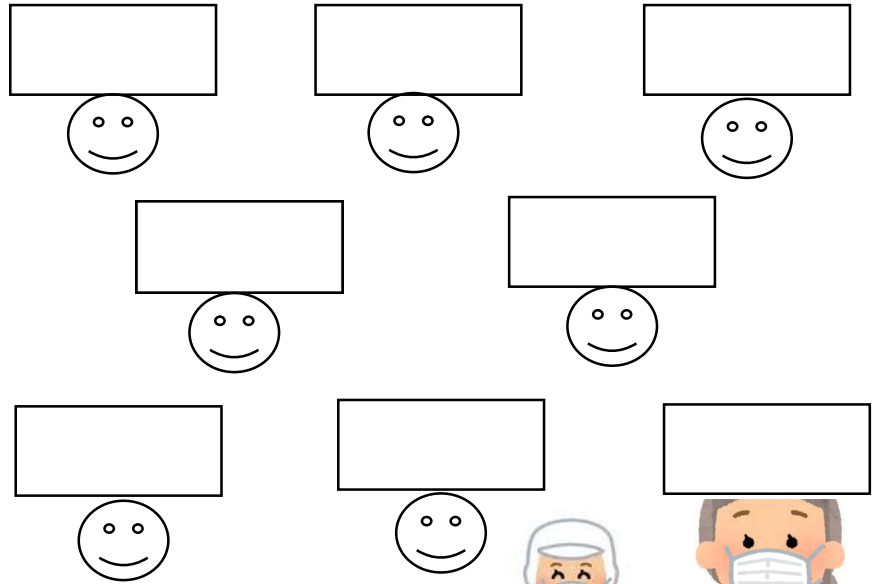


介護職員

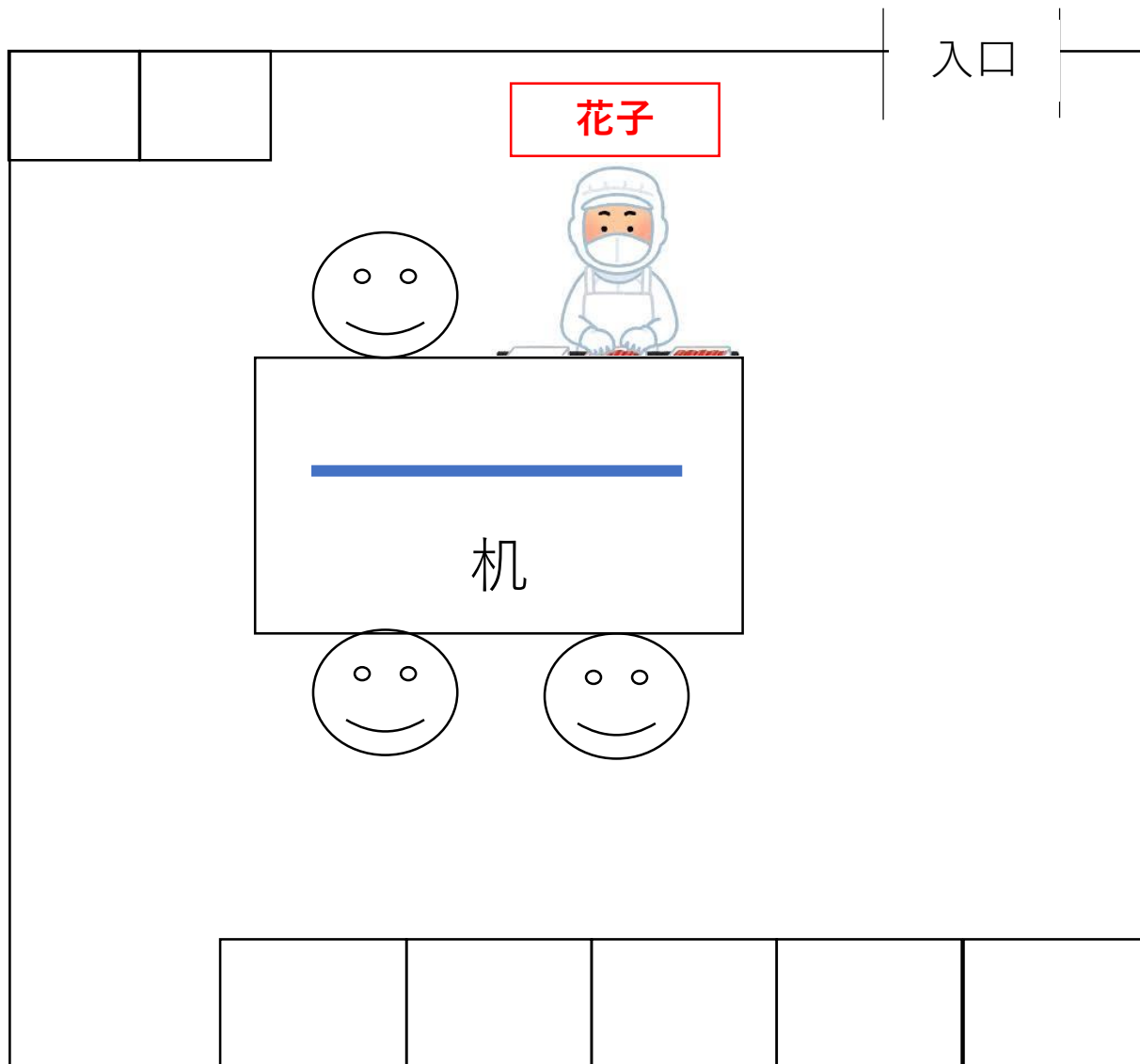


食堂

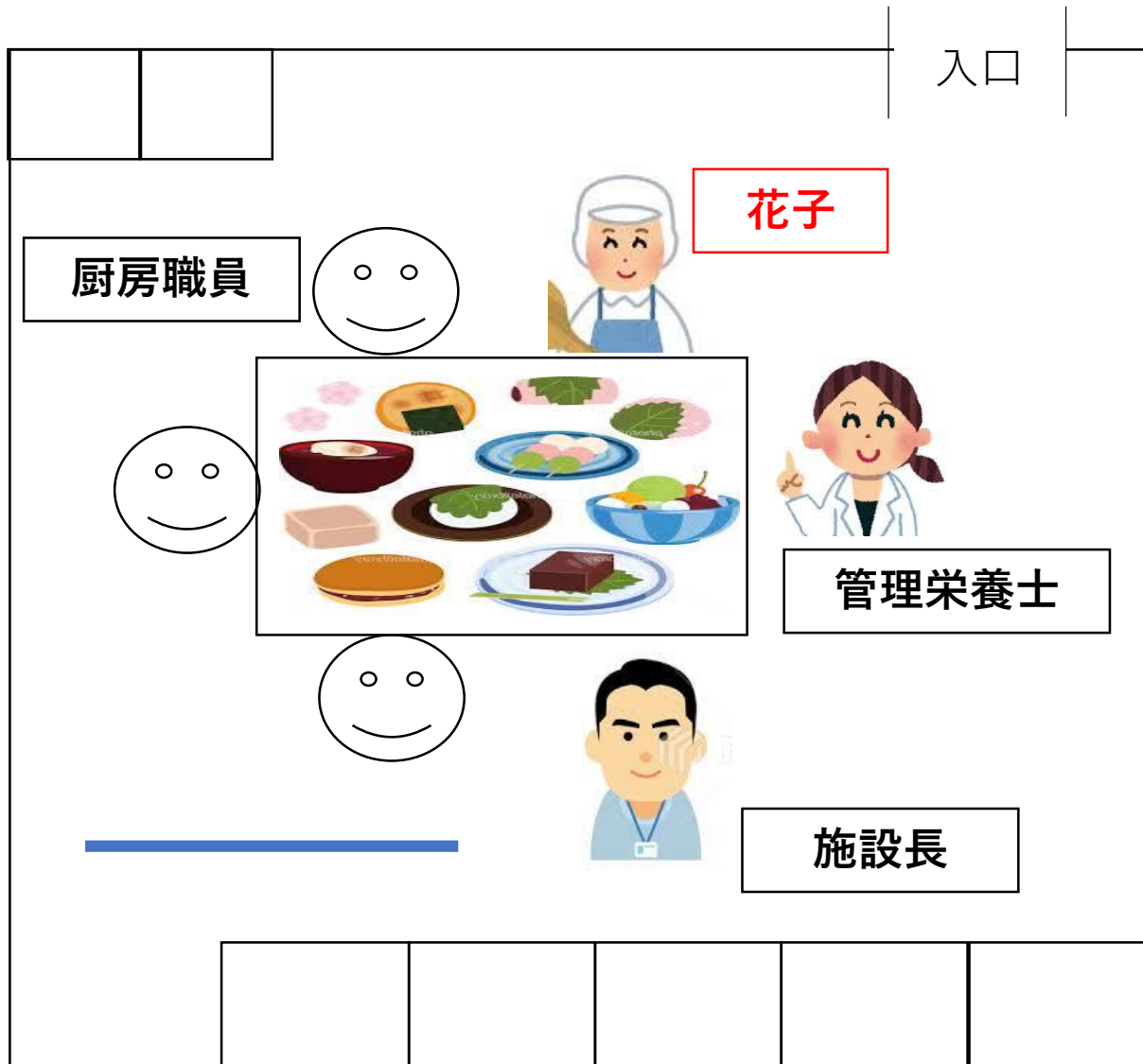
テレビ



休憩室 昼食



休憩室 3/11 おやつを試食会



濃厚接触者の洗い出し

濃厚接触者の定義

「患者（確定例）」の感染可能期間（発症2日前～）に接触した者のうち、次の範囲に該当する者

- 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機等を含む）があった者
- 適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
- 患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- その他：手で触れることのできる距離（目安として1m）で、必要な感染予防策なしで患者（確定例）と15分以上の接触があった者

濃厚接触者の確定

保健所が検討した結果・・・

- ・ 昼食を一緒に食べた。試食会をした。

厨房職員 3 名

- ・ 試食会をした。

管理栄養士 1 名、施設長 1 名

の**計 5 名**を濃厚接触者としました。

保健所が提出を依頼するもの

- 施設概要
- 平面図
- 換気の様子が分かるもの
- 関係者の名簿
- シフト表
- 健康観察票
- 行事予定表

など

平時から記録しておくこと

- 職員のシフト表、勤務時間
（ルーティン業務とそれ以外の業務）
（入所者と密接になった時間があったか）
- 出勤から退勤までの動線
- 換気の状況、時間と方法
- 入所者の体調
- 職員と入所者のマスクの有無

など

平時からの感染予防対策

★施設の感染対策マニュアル作成

- ・ こまめな手洗い・手指消毒
- ・ 咳エチケットの徹底
- ・ こまめな換気（1時間に2回程度）
- ・ 人との距離をできるだけ2 mあける
- ・ 唾液がとびやすいところやよく手が触れるところの消毒（1日1回）
など

マニュアル
に明記

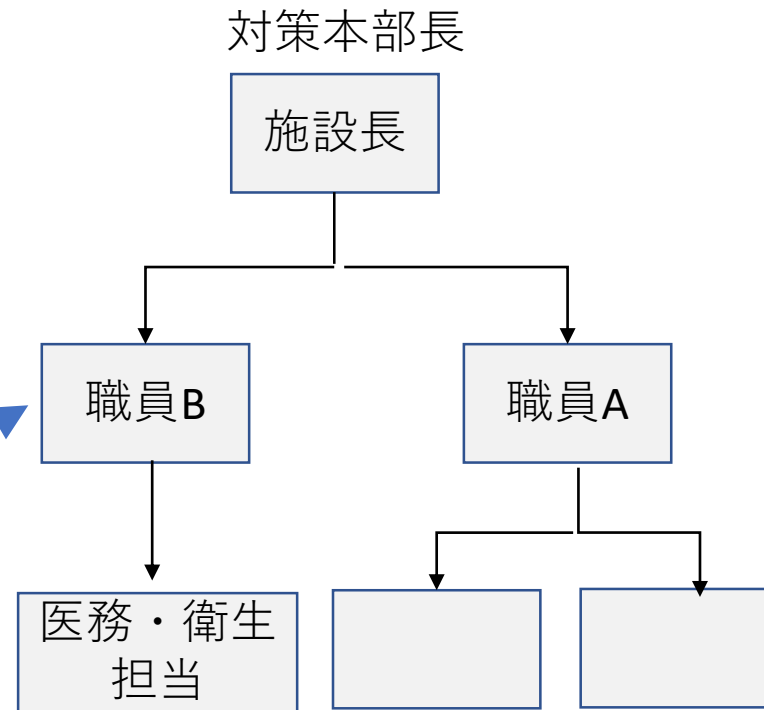
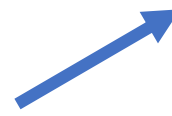
平時からの感染対策

緊急時の想定

- 感染対策本部を設置
- 指揮命令系統の決定

職員への連絡体制や

外部機関(保健所等)との窓口を設定



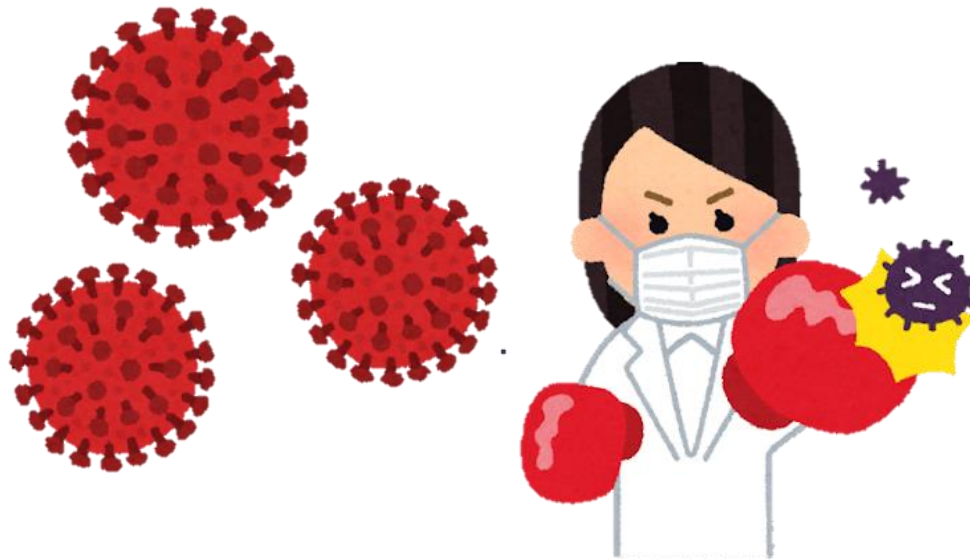
【マニュアル記載例】

どの時点で、誰が、誰に、何をするか。

「陽性と言われた職員は、職員Bに、速やかに報告する」

「陽性者発生連絡を受けた時点で、職員Bが、施設長に、情報を報告して第1回対策会議開催すること」など

ノロウイルスやインフルエンザ等の感染症も流行する時期です。



感染予防対策をしっかりと
していきましょう！